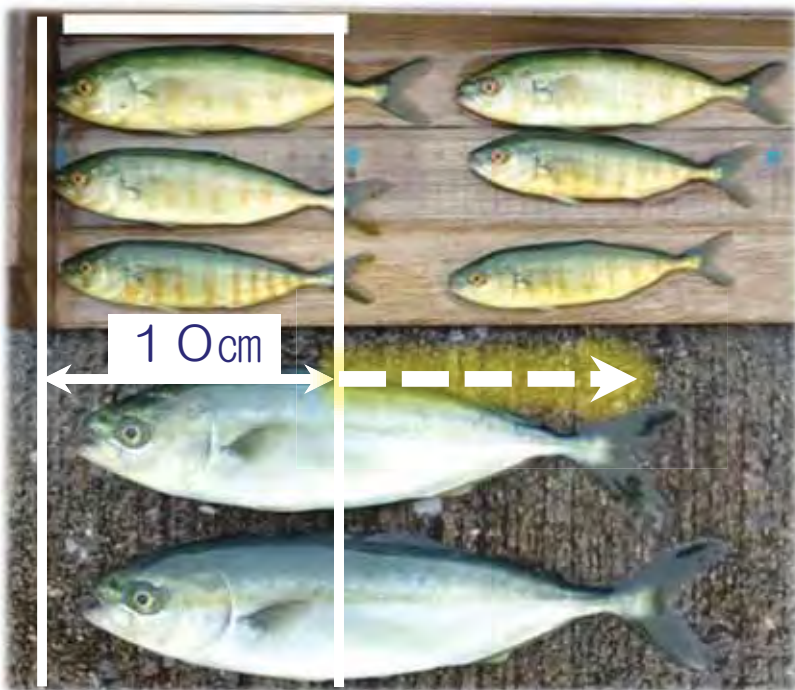


7、今後の輸出展望

『新星鮪王』：SUSTAINABLE

人工種苗の導入

- ・天然資源に依存しない持続可能な養殖
- ・早期種苗による育成期間の短縮（効率化、品質の向上）
- ・育種への期待（養殖ならではの魚づくり）



大きさが天然種苗の約2倍強

年間40万尾以上の人工種苗導入を目指す！

新たな輸出の展開にも期待が大きい！



7、今後の輸出展望

中期的計画

平成30年度迄には50万尾の輸出体制

長期的計画

100万尾の輸出体制（総生産数の50%）

☆世界的に「Buri-Oh（鰯王）」ブランドを確立

日本で唯一の魚種“ぶり”を全世界へ発信

☆国内市場の先細り ⇔ 海外市場の拡大

人工種苗による早期採卵・安定生産の確立

生産管理体制の厳格化による目標値を持った育成管理

☆「ASC等への対応」

資源を保護、環境にやさしい持続的養殖

8、JF東町が目指す先

基本理念：「組合員の為の組合」 「信頼される組合」

① 組合員が必要とする組織

漁業者が必要としない漁協は存在価値が無い！

② 消費者の期待に応えられる

「安心安全な水産物」を持続的・安定的に供給！

経営理念：「現状維持はありえない、成長戦略」

経営指針：『挑戦』・『創造』・『変革』

最終的な目標

「漁業者が漁業で生活ができる」